

太子町の子どもと関わる皆さんへ

特別な研修会 非認知能力とは？

令和6年9月9日（月）



「未来に向かう力（非認知能力）」
育成に向けた取り組み in 太子町

大阪府太子町では、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、個々の可能性を最大限に伸ばすため、「非認知能力」の育成を教育活動の中心に位置づけて取り組まれています。

今回は太子町生涯学習センター（太子の森）において、非認知能力の育成に取り組まれているボーク重子さんを講師に、「特別な研修会 非認知能力とは？」と題して、町内の子どもと関わる大人の方々を対象にした研修会が開催され、約30名の方が参加されました。

その様子を訪問取材させていただきました。

子どもたちに身につけたい
非認知能力について

講演では、「一言で非認知能力と言っても多くの力がありますが、自分以外の誰かのために『社会性』を身につけることや、『共感力（他者の立場に立つて考える力）』を身につけていくことが大切。そのうえで、学校で育まれているこうした力を家庭でも高め、地域全体で子どもの成長を支えていこう！」と力強く話されていました。

また、「学校で行われている取り組みを大人も知ること、大人の視点が変わり、子どもにかける言葉が変わる。そのため、大人も非認知能力を高めることが大切」というお話もありました。

最後に、「太子町全体で子どもたちを育てていくことで、子どもたちの非認知能力の育成がさらに進む」とお話をしめくられました。



質疑応答

お話の後、参加者より、「子育てが終わった私が、町のために、子どもたちのために何ができるのか？特に多様性という言葉が社会的にも多く使われているが、どのように考えたら良いのか？」と質問がありました。

すると、講師より、「参加者の皆さん、白くて、丸くて小さくてフワフワしているものは何だと思えますか？」と逆に問いかけが…。

参加者から、「タンポポの綿毛」「耳かきの綿」「マシユマロ」など色々な答えが出ると、講師は、「多様性とは、正解は一人ひとりの中にあるが、どれも正解であるということ。多様性を大切にすることを育むためにも非認知能力を育むことは大切」というお話がありました。

他にも、活発な質疑応答がなされ、参加者にとって有意義な学びの場となりました。



【大阪府の「家庭教育支援」のホームページ紹介】

「家庭教育支援」のホームページ

担当課：大阪府教育庁 市町村教育室 地域教育振興課 地域連携グループ
TEL 06-6944-6901

「特色ある取り組み情報はコチラ



「未来に向かう力」
リーフレット
ダウンロードはコチラ